

# 济州観光の 現在と未来



## 目次

1. 濟州観光の現況
2. 濟州観光のSWOT分析
3. 濟州観光の現在
4. 濟州観光の未来開拓
5. その他協力事項

# 1. 濟州觀光の現況



人口 : 66万1千人

面積 : 1,849.1km<sup>2</sup>

位置 : 東經126度08分~126度58分

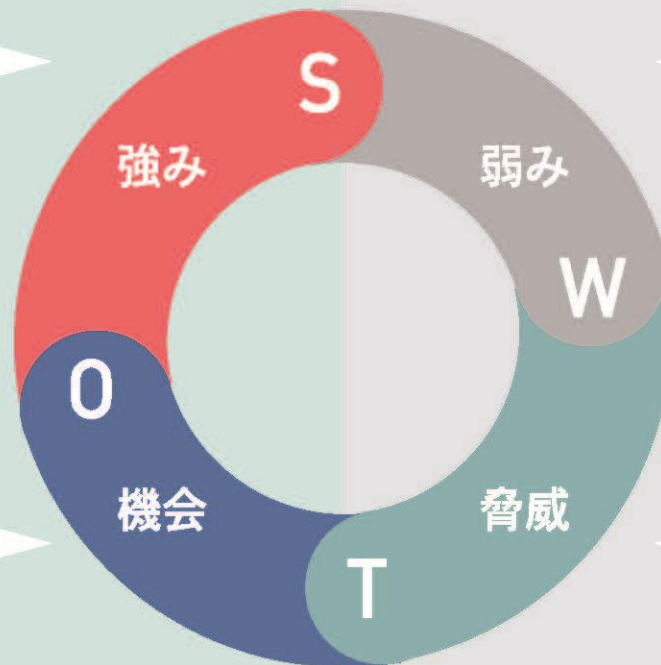
北緯33度06分~34度00分



## 2. 濟州観光のSWOT分析

- 日中韓3カ国の中心に位置し、優れた自然資源を保有(ユネスコ自然科学分野の3つのタイトル、世界7大自然景観(新・世界七不思議自然版)のタイトル保有)
- SIT観光市場に適した様々なコンテンツ
- 西帰浦軍民複合型観光美港の開港などクルーズ・インフラの拡充
- 島観光産業の高い潜在能力
- 電気自動車、再生可能エネルギーなどの観光と組み合わせる新産業の成長

- 海外市場の多様化による体質強化
- 高付加価値観光の定着
- 濟州海女文化がユネスコ人類の無形文化遺産に登録
- 島固有の環境価値と文化資産に対して国内外の関心が高まる
- オンライン及びFIT市場の急速な発展

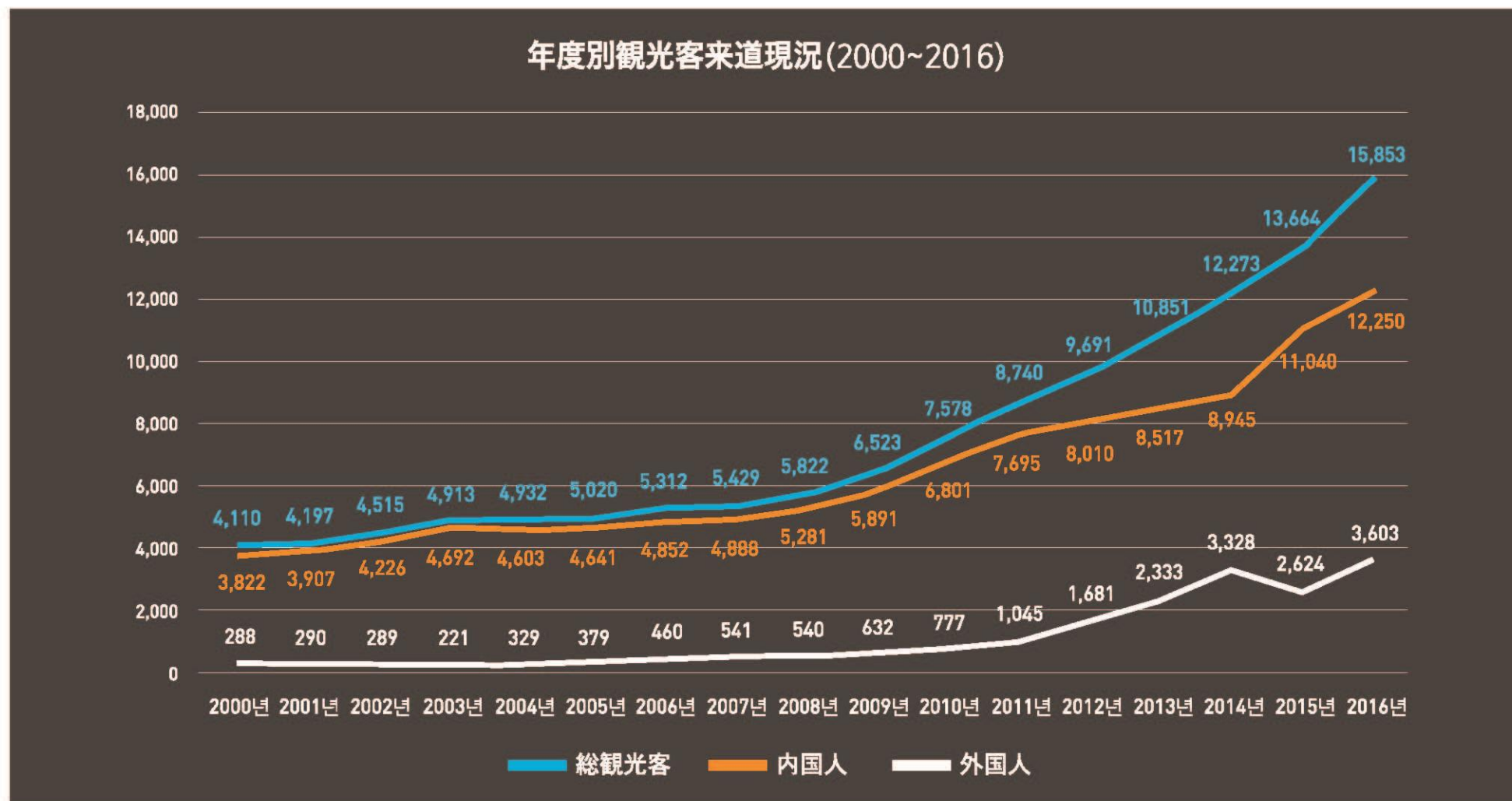


- 島ならではの制限された環境容量
- 空港のスロット限界、中国に集中した国際航空路線
- FITとSIT専門業界の不在
- 中国偏重のクルーズ観光市場
- ショッピング及び格安の観光商品
- 外国人FIT誘致に向けた収容態勢の不足
- 安全事故や凶悪犯罪の発生による「平和で安全な島」という濟州のイメージ悪化

- 中国人観光客偏重及び格安団体観光の増加
- 中国のサードミサイル問題による韓国観光の制限
- 観光容量(総量)の限界
- 気候変動の加速化による島環境の変化
- 島固有の社会・文化・環境における阻害要因の増加(島の公害問題の増加)

# 3. 濟州観光の現在

## 3-1 観光統計(2000年~2016年)



# 3. 濟州観光の現在

## 3-2 濟州観光の特徴



濟州観光の  
強みに基づ  
き誘引力拡大

- ▶ 急速な量的成長(1千500万人の時代)
- ▶ 癒しの島として、濟州は皆が身も心もリフレッシュできる場所
- ▶ 恵まれた自然環境と島独特の文化を土台にした魅力
- ▶ 中国人観光客の急速な増加と高い割合

濟州観光の  
弱点と危機が  
同時に露呈

- ▶ 量的拡大に伴う受容容量の限界の問題(ごみ、上下水道など)
- ▶ 格安団体観光による地域経済効果の限界
- ▶ サードミサイル問題によって浮き彫りになった環境脆弱性



# 4. 濟州観光の未来開拓

質的成長を中心にした濟州価値の最大化

目標 ▶ 濟州観光の質的成長の基盤構築

持続可能な  
観光

濟州の収容能力を考  
慮した成長管理

- 上下水道のインフラ構築
- 資源循環の社会基盤造成

濟州観光の  
グローバル化

多様化による濟州  
観光のグローバル化

- 質の高い親切なサービスなど意識改善
- 多文化に対する認識改善

濟州観光の  
インフラ  
構築

観光満足度の向上

- 第2空港、新港湾の建設
- スマート観光
- 公共交通システムの改編

濟州観光の  
コンテンツ  
拡充

地域密着型の観光  
商品の開発

- 融合・複合型の観光施設拡充
- 地域住民がリードする高品質のエコツーリズム育成
- 濟州固有の文化コンテンツ育成

危機管理

危機を機会に

- 濟州観光における再跳躍の機会に活用
- MERS危機克服
- サードミサイル問題による危機克服及び観光体質の改善など

# 4. 濟州観光の未来開拓

## 4-1 持続可能な観光

### 濟州観光の 収容能力

#### 濟州が収容できる環境容量を考慮した成長の管理

- 道外からの人口流入+観光客の増加⇒2040年、人口100万人時代
- 交通渋滞やごみの増加、上下水道の問題が発生
  - ☞ 2025年までに人口100万人の地域に適合した上下水道インフラの構築
  - ☞ ごみ排出量の抑制と処理施設の高度化による資源循環社会の基盤を構築

「共存という価値のもと、限られた資源と道民の生活の  
バランスがとれた持続可能な繁栄の基盤構築と濟州価値の  
最大化」



# 4. 濟州観光の未来開拓

## 4-2 グローバル化した濟州の観光市場

### 濟州観光の 新たな挑戦

特定の市場に偏重⇒濟州観光の質の低下及び観光収支の悪化

- 濟州を訪れる外国人観光客は300万人で、グローバル市場並の量的成長  
⇒ 特定の国の観光客に依存する問題

世界に向けて市場を開放してイスラム教徒、ASEAN各国など市場の多様化が必要 ⇒ 濟州観光のグローバル化

- 濟州道民の質の高い親切なサービスなどの意識改革
- グローバルな濟州に生まれ変わるため、多文化に対する認識の改善
- 少数言語地域に対するインフラ拡充(通訳案内士など)



# 4. 済州観光の未来開拓

## 4-3 済州観光インフラの改善



### 空港や港湾の収容能力を拡大

- ▶ 済州空港の航空需要が急速に増加
  - 遅延、混雑、安全性の問題の解消
- ▶ 事業費: 4兆8,734億ウォン
- ▶ 収容能力: 年間2,500万人

### 第2空港と 新港湾

### 地域産業の振興及び観光産業の 発展に向けた飛躍の土台

- ▶ 世界一のクルーズ拠点港湾として開発
  - 国際海洋都市へ飛躍
- ▶ 国際旅客、国内旅客、マリナーなどの海洋観光、レジャー、物流のメッカ
- ▶ 事業費: 2兆4,520億ウォン
- ▶ 収容能力: クルーズ4バース、国内埠頭9バースなど



# 4. 濟州観光の未来開拓

## 4-3 濟州観光インフラの改善



### スマート 観光



#### スマートフォンを活用した観光コンサルタントの役割

- 濟州全域、いつでも、どこでも、スピーディーに必要な情報が得られる



#### スマート観光の実現に向けたインフラの構築

- 全エリアにWi-Fi、ビーコン設置⇒オープンスマートプラットフォームの構築

📍 2021年までにWi-Fi 5千個、ビーコン8千個を設置



#### 観光客の旅行パターン分析などビッグデータの収集

- 民間企業、観光客、道民の誰もが利用できるデータの開放
- データに基づいて収益構造の創出を図る

※ 情報収集：国籍、年齢、性別、訪問の目的

# 4. 済州観光の未来開拓

## 4-3 済州観光インフラの改善

### 交通システム の改編



#### スピーディー・便利・安く利用できる道民の足となる 公共交通機関

- 公共交通機関分担率現在10.1%(年5千万人)→目標は15~20%
- 速度・便利・安全・利用革新を通じて定着化誘導、利用拡大



#### 8月26日より全面改編

- 市内バス料金を1,200ウォンに単一化、急行路線の新設(12路線)、路線の簡素化(644路線→400路線)、バス増車(530台→797台)
- 公共交通機関の優先車線を導入(運行速度10km上昇)
- 乗り換えセンターと乗り換え停留場設置、バスの色の改善、乗り換え割引拡大
- バス情報システムの拡充、車内における無料のWi-Fi提供など



# 4. 濟州観光の未来開拓

## 4-4 濟州観光コンテンツの拡充

融合・  
複合型の  
観光施設



### 家族中心の複合型の大規模リゾート - 神話歴史公園など

- ▶ 400万㎡(規模)、2兆4000億ウォン(事業費)、神話や歴史、レジャーなど複合型テーマパーク
- テマパーク、KPOPエンターテイメントセンター、宿泊施設などの7つのエリアを設定
- 2千室以上のプレミアム級ホテル、国際会議、コンベンションの開催など
- 長く滞在しながら活動できる長期滞在型のクリエイティブな休養都市



### 濟州地域における青年雇用の創出

- ▶ 濟州で大型投資事業と道民雇用80%の割り当て政策を初めて導入
- ▶ 雇用5000人のうち、80%は道民を優先採用、地元企業50%以上の共同請負(5,670億ウォン受注)、地元製品の優先使用などの条件



# 4. 濟州観光の未来開拓

## 4-4 濟州観光コンテンツの拡充

濟州の  
自然価値  
を活かすエコ  
ツーリズム

### 🌿 環境を土台にした高付加価値観光

- 濟州ならではの独特な観光モデルを確立  
⇒ バランスのとれた保全と利用でクリーン価値を最大化、濟州の潜在力を発掘

### 🌿 クリーン環境を土台にした高品質のエコツーリズムの育成

- エコツーリズム「濟州オルレ」コースの開発⇒日本の九州、モンゴルまで広がる
- 濟州ジオパークの代表スポットの特徴に応じたブランドの創出⇒地域祭り、歴史的文化遺産と連携するジオツーリズムのコンテンツ開発

### 🌿 (事例)地域の生態資源を活用した生態村の造成 →6次産業

- ハリエリ(生物圏保全地域)をエコツーリズム村に造成 - エコツーリズムのプログラム開発 → 住民主導による特化した旅行コンテンツ開発
- 村の住民や観光客が共感できる持続可能な旅行プログラムの開発
- 村の生産商品の高付加価値化

# 4. 濟州観光の未来開拓

## 4-4 濟州観光コンテンツの拡充

### 濟州固有の 文化 コンテンツ

#### 濟州のグッ(巫俗儀式)、海女文化など多様な文化遺産 ⇒代表グローバルコンテンツとして育成

- \*ユネスコ文化遺産指定 → 濟州の誇りUP、世界の関心UP
- 濟州固有の歴史文化資源を現代的に表現した公演の活性化
- 地域文化が集約された住民参加型と地域密着型の祭りの育成
- 文化インフラ(旧市街地の路地など)の活性化による常設展示・公演の基盤構築



#### 地域の商圈と連携した文化的な濟州の夜 - 夜間観光の コンテンツ開発

- 三多公園文化コンサート、プリーマーケット、フードトラックなどのイベント
- 観徳亭と牧官衙地を活用した夜間の文化公演プログラム
- 韓服姿で解説師と一緒に「旧市街地散策」など、「夜行」プログラム



# 4. 濟州観光の未来開拓

## 4-5 濟州観光の危機管理

### 危機管理

#### MERS危機(2015年)から濟州観光産業を保護する活動の展開

- MERS危機克服のための観光業者への緊急運営資金を支援
  - \*濟州観光振興基金、MERS特別融資実施:148箇所304億ウォン
- MERS危機克服のための観光客誘致のマーケティングを展開
  - \*中国・日本・インドネシアとの経済外交、明洞ロードショー、濟州HOT SALE、業界関係者向けのファミツアー、大型イベントなど

#### サードミサイル問題による危機(2017年)を濟州観光産業の再跳躍の機会として活用

- 中国市場への依存度を下げるとの市場の多様化政策を模索
  - \* 5年ぶりに日本市場は成長に転換、ASEAN市場の二桁成長
- 官民合同で、外部環境の変化に影響されないように観光産業の体質を改善





# 第2回 世界リーダーズ保全フォーラム

環境分野における世界のリーダーが回復力のある社会に向け、  
自然を基礎とした解決策の提案を目指して環境・経済・社会  
を包括する問題について議論

期 間：2018. 10. 3(水) ~ 10. 5(金)、2泊3日間

場 所： 済州特別自治道(主要会場：済州国際コンベンションセンター)

参 加： 約2千人(国際機構、政府機関、地方自治体、研究機関)

プログラム： リーダーズ対話、専門家のセッション、生態探訪など

主 催： 環境部、済州特別自治道、国際自然保護連合(IUCN)

▶ 地方自治団体の環境政策に関する広報ブースの運営も可能



A wide-angle landscape photograph showing a valley with a river or stream, surrounded by green fields and forests. In the background, a large mountain range is visible under a sky with soft, pinkish-purple clouds. The overall mood is serene and peaceful.

ありがとうございます！